



2学期が始まり約2か月が過ぎようとしています。様々な行事にむけて準備を進め実践、経験を通じて子ども達が成長する姿が見られています。

さて、今回は校内の進路学習の教材や授業の様子を学部ごとに紹介いたします。

## 進路学習 教材・授業紹介



### 【小学部】

小学部での「進路にむけての学習」は、日々の学校生活の中で取り組んでいることが多いです。毎日きちんと登校し下校するまでの学校生活を送る「生活リズム」の確立や「あいさつ」「返事」「時間を守る」「好き嫌いなく食べる」「清潔」などを毎日の日課を過ごしていく中で学びます。また、生活面では「身辺自立」も大きな学習の一部です。授業の中では、『生活』の学習の中で、「掃除」や「身だしなみ」の学習を行ったり、『課題別学習』でそれぞれの実態に応じた「手先の学習」を行ったりしていますが、これらも進路につながる学習ととらえています。また、さまざまな活動において「準備」や「片付け」をすることや「あそび」「係活動」を通して、楽しみながら基礎的な力をつけていくことが、本校のキャリア教育ともつながっています。



### 【中学部】

中学部は係活動で給食の配膳をしています。毎日同じ手順で行います。

- ①身支度を整え、手を洗う
- ②出席人数を確認して、コースター（名前入り）を各机に置く
- ③コースターの上に1個ずつ牛乳とストローを置く
- ④給食が終わったらコースターを回収する



## 【高等部】

高等部は校内実習で活用している教材をご紹介します。

### (1) おあしす表・ほうれんそう表

校内実習では、「あおしす表」「ほうれんそう表」を朝礼で復唱します。使用する場面になったらすぐに活用、確認ができるよう教室内に掲示しています。



### (2) タイムカード

校内実習では、出勤時間や退勤時間にタイムカードを打刻する場面を設定し、働く時間への意識を高められるよう工夫しています。実習期間中に継続して行うことで自分から忘れずに行えるようになり、仕事のオンとオフの切り替わるスイッチのよう役割も同時に果たしていると感じます。



### (3) タブレット端末のアプリケーション

タブレット端末のアプリケーション「DropTalk (ドロップトーク)」は、ドロップレット・プロジェクトが開発したVOCAアプリです。2020年にはAppleが優れたアプリを紹介するApp Storeプレビューで「思いを伝えるためのApp」として紹介されたようです。このアプリを活用し、順番に登録されているイラストや音声を指先でタッチしてもらいながら、校内実習のミーティングや反省進行を支援するツールの一つとして利用しています。



## 【分教室】

9月29日（金）後期の実習壮行会が行われ、2年生、3年生は現場実習先と目標などを発表しました。1年生は、校内実習に向けて一人一人発表しました。1年生も2度目の発表なのでしっかりと発表できていました。

10月6日（金）には、パーソルダイバースミラトレ横浜就労移行支援事業所でのゲストティーチャーという形で、メモの活用についての授業をしていただきました。3年生での授業でしたので、社会人になったらどんな時に具体的にメモを取るのか、メモをどのように活用するか、メモを取るタイミングなどの授業があり、生徒たちも卒業を控えての授業なので真剣に取り組んでいました。

10月12日（木）から10月25日（水）までの校内実習では、作業内容は前期と変わらず1年生から3年生まで3グループに分かれて行っています。